

“腎機能低下通知シール” の運用案について

いわき市薬薬学連携協議会
情報部会

腎機能は副作用発現にも影響する

薬剤の多くが尿から排泄



腎機能低下による排泄の遅延



血中濃度の維持



有効性 ↑ 副作用 ↑



中毒性副作用発現

腎機能に対する適正使用

腎臓の機能は検査値により把握が可能

血清クレアチン (SCr)

クレアチンクリアランス (Ccr)

eGFR

添付文書にCcrやeGFRに応じて中止または減量規定が示されているものがある

6. 腎機能低下患者では高い血中濃度が持続するので、下記の用法・用量を目安として、必要に応じて投与量を減じ、投与間隔をあけて投与することが望ましい(「薬物動態」の項参照)。

腎機能Ccr(mL/min)	用法・用量
$20 \leq Ccr < 50$	初日500mgを1回、2日目以降250mgを1日に1回投与する。
$Ccr < 20$	初日500mgを1回、3日目以降250mgを2日に1回投与する。

クラビット(第一三共)添付文書より

お薬手帳を利用した情報共有



入院患者はOKだが、外来患者の腎機能は保険薬局では確認が難しい。

腎機能の状態が確認できる、eGFR値をお薬手帳に記入すれば保険薬局でも確認できる！



シール貼付の目的

腎機能の低下している患者に対しお薬手帳にシールを貼ることで、腎機能低下により注意を要する医薬品の適正使用を推進する。

おくすり手帳



この手帳は貴方の健康増進の為に、
お薬の管理をする大切な手帳です。

処方せん又は診察券と一緒にお願いします。

お名前

磐城 太郎 様

シール適用患者（透析患者を除く）

① 2回連続で

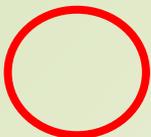
eGFR値が 60mL/min/1.73m²未満

または

② 1回でも

eGFR値が 45mL/min/1.73m²未満

※脱水や急性腎不全等、一過性の場合もあるので症例を考慮



①説明と同意

腎臓の状態を病院と保険薬局で共有することにより・・・

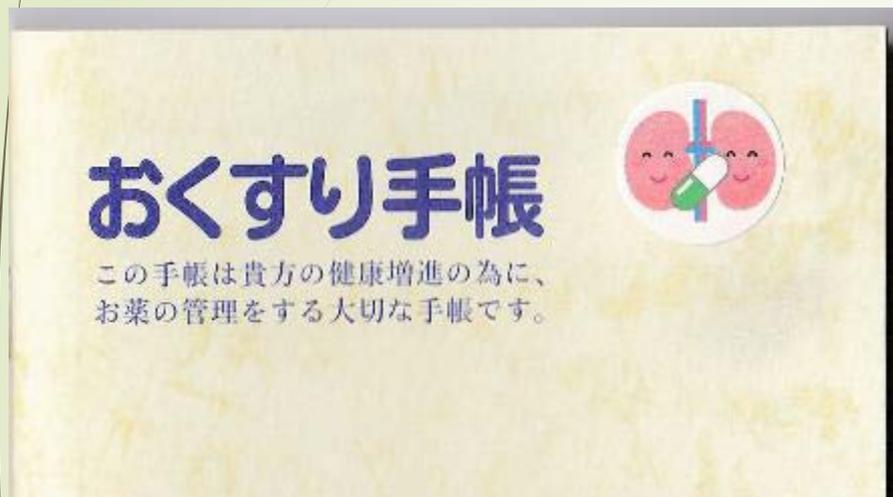
シールを貼ってよろしいでしょうか？



分かりました。
いいですよ

副作用を防止するため・・・

②シールの貼付と検査値の記載



年 月 日 おくすりの名前、飲み方、注意すること、医療機関名、薬局名

ID: 9990599999
お城 太郎 様 診療科名: 保険医氏名: 発行日: 2017年10月29日

何か異常がありましたら、医師、薬剤師にご連絡下さい

1	アムロジピンOD錠5mg	1錠
	プラバスタチンNa錠10mg	1錠
	1日1回 朝食後	7日分
2	一硝酸イソソルビド錠20mg	2錠
	1日2回 朝・夕食後	7日分
3	モサプリド錠5mg	3錠
	1日3回 朝・昼・夕食前	7日分
....	以下余白

2017.10.1 そらまめシール貼付

9.22 eGFR 51 mL/min/1.73m²

9.29 eGFR 50 mL/min/1.73m²

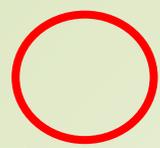
③処方監査への利用

この患者のeGFR値では、1/2量が推奨されているな



よし！疑義照会で確認しよう。





愛称：そらまめシール

